



さんびょう6

三錨VI

本気に 元気に 根気よく

四日市市立富洲原小学校
学校だより

No. 25

平成30年 2月14日



ピョンチャンオリンピックも、日本選手の明るい話題で盛り上がってきました。これまでの長い努力の成果が、結果として表れた選手には、心から拍手を送りたいです。残念ながら及ばなかった選手も、競技に賭ける思いはみな同じでしょう。勝っても負けても、真剣に競技に向かっている姿からは、感動とパワーがもらえます。選手たちの、今後のさらなる活躍を期待したいです。

B型インフルエンザの流行は収まってきましたが、ここへきてA型の流行のきざしがみられます。一度かかっても油断せず、手洗い・うがいなど、感染防止にこころがけてください。



◇ゆがんだ姿勢にさようなら



保健委員の発表

2月8日(木)の6限目、講堂にて学校保健委員会がありました。4・5・6年生の児童と教職員が参加。いつもお世話になっている学校医の渡辺先生、学校歯科医の寺本先生、学校薬剤師の相松先生と、希望された保護者の方にも参加をいただきました。

今年のテーマは、「ゆがんだ姿勢にさようなら」～その姿勢あなたの気持ちを表すよ～です。5・6年生の保健委員の児童による、発表を通して学習しました。

卒業して35年後、「三錨会」で同級生と再会すると、「肩や腰が痛い」と言っている友達がいる。さて、何が原因だったのでしょ？という寸劇から、姿勢が悪いと将来どうなるのかという問題意識を持たせます。そして、どんな姿勢がよくて、どんな姿勢が悪いのか、児童アンケートの結果を示したり、実演をしながら説明。本校の二人の先生からは、「今腰や肩が痛いのは、小さい頃からの姿勢の悪さが原因だったと思います。」などの経験談も聞かせてもらいました。その後は、エクササイズタイム。二人組になり、交互に目をつむって50歩その場歩きをしました。各自の下には赤いテープで十字のマークが貼ってあります。歩いた後、どの方向に寄っていったかで、自分の姿勢のゆがみチェックができます。最後に、本校オリジナルの「ホグリセットダンス」(ホグリとリセットを合わせた造語)をみんなでやりました。肩や腰、足を柔らかくほぐすことをねらいにしたダンスです。各クラスの保健指導の時間に1回練習しただけなのに、「ハッピー」の曲に合わせて、みんなノリノリで踊っていました。

最後に、3名の先生から、次のようなご助言をいただきました。

年度当初に学校を巡回した時に、姿勢が気になる子が多かったのが、このテーマにしてもらったきっかけです。体の左右のバランスからいって、ほおづえはなるべく気を付けた方がいい



ホグリセットダンス



ですね。このダンスは、とてもいいですね。健康のために、これからも全校で取り組んでもらうと思います。

学習を終え、次の日から5日間、「良い姿勢チャレンジ」に取り組みました。学校へ来たら、1時間ごとに、自分は良い姿勢を意識して正しているかをチェックし、カードに○を付けるものです。学習が終わったら忘れてしまうのではなく、学習したことが少しでも定着するように、意識付けをするのがねらいです。ご家庭でも、気づいた時には姿勢についてお声掛けをしてあげると、さらに意識付けになると思います。



最後のご助言

◇校内書写展始まる

2月13日(火)から16日(金)までの間、講堂にて校内書写展が開催されています。新年試筆で各自が書いた、毛筆(3年以上)と硬筆(1・2年)の作品が展示されています。15日は、授業参観と懇談会がありますので、その際にご覧いただけます。その日はご都合が悪い方は、期間中の午前9時から午後4時まで、講堂が開放されていますので、ご都合よい日時にご来校ください。校舎側入口よりお入りいただき、入口付近にある来校者名簿にご記入の上、ご覧になってください。



毛筆(3~6年)



硬筆(1・2年)

◇スムーズな接続のために

2月6日(火)の午後、6年生全員が富洲原中学校を訪問させていただきました。中学校入学を4月に控え、安心して希望を抱いて中学校へ入学できることをねらいにしたものです。

まず、5限目の授業を見学させていただきました。1年から3年生まで、様々な授業が行われました。数学や美術など、小学校とは教科名も変わる授業もあります。次に3グループに分かれ、3つの教科の中学校模擬授業を受けました。数学は、「正○角形でできる立体」、国語は、「漢字ってどんな感じ、こんな感じ!」、体育は、楽しいゲーム的な運動の連続で、どれも小学生でも興味を持って参加できるものばかりでした。その後は、武道場に集合して、中学校生活についての説明会。校長先生のお話の後、担当の先生から、中学校での基本的なルールや心構えについてお話していただきました。最後に、クラブ見学をさせていただきました、解散となりました。

中学校入学を控え、希望とともに、心配や不安を抱いている児童もいるかと思います。何でも、見たこともやったこともない、知らないことには不安な気持ちを抱きがちになります。「学びの一体化」の取組の一環として、今回の体験が、小・中のスムーズな接続に少しでもつながればと思います。中学校の先生方には、お忙しい中ありがとうございました。



体育



国語



講話